

ノベルティー事業に力

シサム工房 フェアトレード 広げ

アパレルなどフェアトレード製品の企画製造販売、シサム工房（京都市）は、ノベルティー事業に力を入れている。昨年、

専門部署を新設し、メンバーも増やし2人体制とした。これまでにアプローチできていなかった人々にフェアトレードを知って

もらう事業と位置付けている。

ノベルティー事業は4年前にスタート。少しずつだが、毎年売り上げを伸ばしている。贈り手の気持ちが受け手に届くように、フェアトレードのストーリーが伝わるタグや説明文を付ける。一定数量以上の注文に対しては、作り手の写真を載せた感謝状を進呈する。

中心アイテムはエコバッグ。インドで都市スラムに暮らす女性たちの生活自立を支援してい

るNGO（非政府組織）を通じて生産する。生活に困っている人は縫製技術がまだ未熟なことが多く、エコバッグで技術を習熟してもらう狙いがある。上達すれば洋服などを縫えるようになり収入が上がる。キャンパスのトートバッグなどさまざまな種類があり、最低ロットは50個から。洋服の端材を取っ手に使うオーダーも受ける。

マグカップはネパールのNGOを通じて生産する。焼き物の伝統がある村で、ナチュラルな風合いで軽いストーンウェアのマグカップを作っている。インドの農業組合と組んだ、オーガニックコット

ニックコットンのTシャツなどもある。

最近、学校、学生からの問い合わせが増えている。ノベルティーはシサム工房の取引先だけでなく様々な企業にも広げられると考えている。



インドで生産するエコバッグなどのノベルティー